

博 物 も の が た り

第42号

ば
け
た
う
情
緒
た
つ
ぱ
り
お
草
子
の
ロ
マ
ン
を
伝
え
ま
す



株式会社 明月堂

に
か
四

本
十
も
の
が
た
り



博多祇園山笠

七月一日～十五日

土居流

ながれ

博多に夏を告げる風物詩といえば「博多祇園山笠」。

その山笠を支える自治組織が「昇き山七流」です。

明月堂川端店が属する「土居流」は、

追い山の発祥にも関係する由緒ある流。

豊臣秀吉による太閤町割り以来変わらぬ名称を用い、

伝統どしきたりを語り継いでいます。



博多でお菓子を作り続けて八十二年。

饅頭誕生の地、博多。

仁治二年(一一四一年)、宋に留学していた円爾弁円(後の聖一国師)が帰国。博多の町を毎日托鉢して歩いていたとき、親切にしてくれた茶店の主人、栗波吉左衛門に中国で習った酒饅頭(さけまんじゅう)の製法を伝えたのが、饅頭の始まりといわれています。

その歴史を後世に伝えるため、承天寺には、聖一国師が書いたとされる「御饅頭所」の文字を刻んだ碑を建立。饅頭や蕎麦と共に日本を代表する食として饅頭は博多から広がっていきました。

博多らしい饅頭を。

明月堂は、当初「カステラの明月堂」として親しまれていました。その後、郷土である博多、饅頭発祥の地、博多にふさわしいお菓子をつくりたいとの思いから、新しいお菓子づくりが始まりました。和菓子の技法とカステラの明月堂として長年培った洋菓子の技法。その良いところを探り入れて生まれたのが「博多西洋和菓子」です。

明月堂の創作する菓子は、和の素材と洋の素材、和の心と洋の心がひとつになった、まさに博多の歴史と文化そのもののお菓子なのです。



博多ものがたり



明月堂は、当初「カステラの明月堂」として親しまれていました。その後、郷土である博多、饅頭発祥の地、博多にふさわしいお菓子をつくりたいとの思いから、新しいお菓子づくりが始まりました。和菓子の技法とカステラの明月堂として長年培った洋菓子の技法。その良いところを探り入れて生まれたのが「博多西洋和菓子」です。

明月堂の創作する菓子は、和の素材と洋の素材、和の心と洋の心がひとつになった、まさに博多の歴史と文化そのもののお菓子なのです。

博多祇園山笠

七月一日～十五日

土居流ながれ

苦労を重ね「土居流保存会」の名称で参加した昭和41(1966)年の「旗山(はたやま)」。



博多っ子が親しみを込めて「お櫛田さん」と呼ぶ櫛田神社。「土居流」は、その門前を北に走る土居通りをはさんで向かい合う十力町の上新川端町、大乗寺前町、川口町、片土居町、上土居町、中土居町、下土居町、行町、濱小路、西方寺前町、で構成されています。

「山を昇きたい」
その思いがつないだ
数百年の歴史

土居流の十力町の名前は、現在、地図上で探すことができません。昭和四十二(一九六六)年、博多地区の「町界町名整理事業」で消えてしまつたのです。同事業のあたりを受け、土居流も解散の危機に立ちます。前年四月に町総代が協議し、「今後の運営ができない」との理由で正式に解散が決まりました。しかし、役員若手有志はこれに反対し、「土居流保存会」を結成。二年間は



博多ものがたり

保存会として参加することになりました。その甲斐あって昭和四十二年（一九六七）年には、流当番制のもと

旧十力町による土居流が正式に復活。ふたたび博多の街を駆け抜けました。彼らの熱い思いが歴史のたすきをつないだのです。

連綿と受け継がれてきた行事と「流」独自のしきたり

七月一日から始まる博多祇園山笠に向けて、土居流が始動する月

に向かって、土居流が始動するのは、七月下旬。この時に行われる「弁天講（総

肩子にあしらわれた十力町の法被。それぞれデザインが違うため、山笠期間中は「名刺代わり」にも。

祈願する「小屋入り」、山笠の昇き棒を清めの水で洗う「棒洗い（神事）」、法被姿で三社を参る「御願立て」といった伝統行事が当番町を中心に行われます。そして、ニュースなどで「山笠の季節」と報道されるのが七月の「お汐井取り」。箱崎浜で清めの砂を納めれば、いよいよ祭り本番です。

また「昇き山七流」には

それぞれに独自のしきたりがあります。土居流では、七月十一日の「朝山（祝儀山）」終了後の「捻じきり」がそのひとつで、新旧役員が一人ずつ向かい合って座り、ちくわの両端を捻じてちぎる、というものの。親睦を深めあうのが目的の行事ですが、その由来が不明だというのもかえって興味深い話です。

「この法被を後世へつなげ」。町の長老が口にした言葉が、受け継がれてきた絆を物語っています。

原動力です。

取材協力いただいた土居流総務の木梨博史さん（左）。赤手拭の高野さん（右）に「私たちが若い頃よりよっぽど熱心」と目を細めます。



明月堂川端店が位置する上新川端町の長法被。



今年の土居流当番町、行町の長法被。シンプルな文様は「行」の字を意匠化したもの。



土居流は、総務、流委員、総代、取締、赤手拭（あかてのこい）といった役職ごとの手拭があります。写真上から、総務、総代。

六月一日には、祭りの法被が解禁され、この日から長法被（当番法被）の男衆が博多の町を闊歩。博多の町が山笠色に染まりはじめます。

ところで、この法被、それぞれの流によってデザインが異なるのを存じでしょうか。土居流では旧十力町そ

代寄り）を皮切りに、その年の行事いつさいを仕切る当番町によつて、山笠行事の細かな事柄が縋密に打ち合わせられています。

六月には山笠の建設を前に安全を



紺縫の粋な水法被が土居流の伝統を象徴

太宰府政庁の関連施設として、約四百年に渡って存続した、諸外国との交流拠点

鴻臚館は、飛鳥・奈良・平安の三時

代、約四百年に渡って、中国や朝鮮から、外交使節を迎えた。もてなす客館としての役割を担っていました。また同時に、日本から諸外国へ向かう外交使節（遣唐使・遣新羅使）の待機所としても利用されたようです。

これと同様の施設は、京都・平安京、大阪難波にも設置されていましたが、遺跡の発見により所在地が確認されているのはここだけです。

文献をたどると、鴻臚館の前身となる「筑紫館」の名称が登場したのは、飛鳥時代の持統二（六八八）年。その後、平安時代の承和五（八三八）年には、鴻臚館として初めてその名称が記されています。鴻臚館の名称は、中国の外交施設である「鴻臚寺」に由来するもの。鴻は、大きいの意。臚は、伝え告げるの意で、諸外国からの外交使節の来訪を告げる声を意味しています。

平安時代に入ると、鴻臚館の役割にも変化が見られます。寛平六年（八九四）年に遣唐使が廃止される以前から、中国や朝鮮から來訪する商人の接待、貿易の場に。やがて、鴻臚館の名称も「大宋国商客宿坊」などに変わり、永承二（一〇四七）年、施設が放火に見舞われた

現在の鴻臚館跡周辺の空撮写真。
目の前まで迫っていた海は、後世に埋め立てられました。

深

ふくおか探訪録

十五



飛鳥・奈良・平安時代に渡り、
日本の外交を支えた客館

こうろかんあと 鴻臚館跡

多くの市民が集う、中央区の「舞鶴公園」には、

諸外国からの使節を迎え、もてなすための外交施設がありました。(P5、P6の写真提供/福岡市)

ことや、放火犯が捕らえられたとの記述を最後に、鴻臚館は歴史の舞台から姿を消すことになります。鴻臚館の廃絶後は、貿易の中心は博多に移ったと考えられています。

文献から姿を消して、約千年。時を経て、「鴻臚館」は再び、この地に蘇りつある

これまでの発掘調査の合成写真。
球場跡内が北館跡、球場跡外野席から場外へ
かけて南館跡が広がっています。

永承二(1047)年を最後に歴史文献上から姿を消した鴻臚館です。が、後世、江戸時代頃には、現在の博多区下呂服町辺りの官内町にあつたとの説が有力でした。

しかし、大正末期になると、九州

帝国大学医学部
に勤めていた中山平次郎教授によ
り「福岡城内」説

が提唱されます。

中山教授が「福岡城内説」の根拠としたのは、鴻臚館の前身である筑紫館において、遣新羅使が詠んだ古歌に登場した地名や風景の描写とされています。

さらに、当時は陸軍の駐屯地となり、出入りの自由が制限されていた福岡城内を、博多どんたく開催に伴う開放日を利用して独自に調査。そこで、古代の瓦や中国陶磁器を採集し、その成果を論文として発表しました。

時は流れ、昭和六(1931)年に
なり、福岡城内の一角「平和台球場・
外野席」にあたる場所で、初めて正式な発掘調査が行われました。このとき、数々の遺物とともに、鴻臚館の遺構が良好な状態で出土しました。

発掘調査は、現在も絶え間なく続いている。この間にも、南館・北館のそれぞれの施設の配置、高さ4mにもおよぶ堀石垣やトイレ跡など数々の遺構が確認されました。

さらには、外
交・貿易を担つ
れました。

博多ものがたり

当時、鴻臚館から太宰府政府までは、真っすぐ通つながる「官道(かんどう)」が走っていました。



中国製・朝鮮製・西アジア
製と、多彩な陶磁器や陶器、ガラス器が大量に出土しています。



これまでの発掘調査の合成写真。
球場跡内が北館跡、球場跡外野席から場外へ
かけて南館跡が広がっています。



古跡復元に着手開始。日本で
最初の発見となりました。



細い棒「箆木(ちゅうぎ)」は、
古代のトイレットペーパー。



鴻臚館跡

福岡市中央区内城内1
福岡市 経済観光文化局
文化財部 大規模史跡整備推進課
TEL:092-711-4784



出土した遺構、復元した建物、豊富な遺物などが展示され、鴻臚館の歴史を学ぶことができます。

「鴻臚館跡展示館」
発掘の成果に触れながら歴史を学べる

所 在 地 福岡市中央区内城内1
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休 館 日 12/29~1/3
入 館 料 無料
T E L 092-721-0282

発見ふくおか その三十五 福岡における考古学の先駆者

中山平次郎博士



医学博士でありながら、

考古学分野において、数々の功績を残した中山平次郎。

志賀島における「金印」の発見地推定や、

古代の外交施設「鴻臚館」跡地の推定など、中山博士の調査・研究活動の成果の多くは、福岡の考古学発展に多大な貢献を果たしました。

家系に沿い医学の道へ進むも
思わぬ大きな転機が訪れる

学するなど、一時、考古学とは遠ざかることとなりました。

帰国後の明治三十九（一九〇六）

中山平次郎は、明治四（一八七二）年、現在の京都府上京区に生まれ、間もなく東京に転居しました。

少年時代には、すでに考古学に興味を持ち、方々の遺跡に足しげく通つていましたが、代々続く医師の家系に沿って、東京帝国医科大学医学科に進学。病理学を専攻します。

その後、卒業を迎えると、西欧へ留学。感染。生死をさまよう大事から命

福岡城内
鴻臚館跡

跡を発見



▲中山博士自筆の原稿は貴重なもの。左から「金印物語」「漢委奴国王印物語」「古代の博多」。
(写真提供/福岡市博物館)

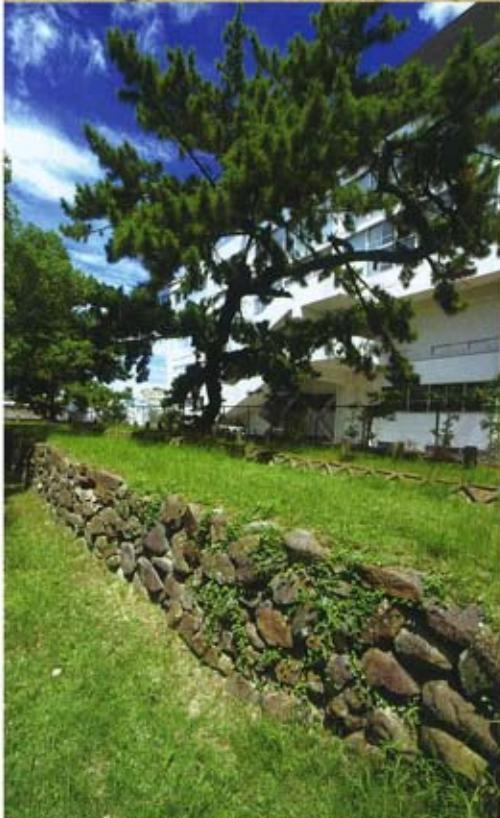
◆鴻臚館跡調査を行った大正4~5（1915~16）年に、福岡城跡にて採集した瓦の拓本。
(写真提供/福岡市博物館)

本来は病理学者でありながら、後世では考古学分野での実績が大半を占め、一般に考古学者として認知されています。
(写真提供/福岡市博物館)



今を発見

博多ものがたり



中山博士が便宜的に「元寇防壁」と命名するまでは、この石垣群は「石築地(いしついじ)」と呼ばれていました。(写真提供/福岡市)

水稻耕作(すいとうこうさく)を行った集落遺跡としては日本最古。併設の「板付遺跡弥生館」では、遺物や映像を通して弥生時代のことを学べます。(写真提供/福岡市)



を取り留めたものの、この事故以降、解剖の執刀ができなくなるのです。

奇しくも、この事故を境に、中山博士は考古学の研究へと傾倒していくことになります。

独自の研究スタイルを武器に眠る歴史に光を当てる

中山博士の残した輝かしい成果のなかには、誰もが知る遺跡が少なくありません。

まずは東区志賀島で発見された金印「漢委奴国王」出土地の特定。

これは、地元の古老人の口伝や、志賀海岸に代々伝わる絵図の描写を基に導き出しました。

さらに、福岡市内の海岸線に点在する鎌倉時代の石垣群について、新聞紙上への論説発表時に「元寇防壁」と命名。現在ではこれが通称となっています。

また、博多区板付の「板付遺跡」においては、出土した甕棺の中に残つ



江戸時代の天明4(1784)年、志賀島で発見された国宝金印「漢委奴国王」。中山博士はその偽物説を、論証により否定しました。(写真提供/福岡市博物館)



(後に弥生時代と定義)が存在することを提唱しました。

それから、中央区(福岡)城

内「鴻臚館跡」の位置を特定。昭和に入り福岡城跡で発見された遺跡は、現在も発掘が続いている。

中山博士は、これらの成果を得る

にあたって、現地における踏査と地表で確認できる土器などの採集をして歴史文献の解析を実施。発掘調査に頼らない、独自の調査・研究スタイルを貫きました。

た石器と金属鋸の痕跡に着目。これらが石器時代と古墳時代それぞれの遺物の特徴を併せ持つため、両時代の間には中間期間

と定義)が存在することを提唱しました。

大正～昭和時代初期にかけて、自らの信念に基づいて取り組みを続けた中山博士。やがて、考古学界では発掘による調査・研究が主流となるなか、中山博士は考古学界の第二線から退きます。

そして、昭和三十二(一九五六)年、九州北部の地に眠っていた多くの遺跡に光を当てた博士は、八十五歳でこの世を去りました。

現在、中山博士が取り上げた遺跡の多くが国指定の史跡となっています。事実を見れば、その後の福岡の考古学発展に限らず、文化財保護に大きな貢献を果たしたことは言うまでもありません。

あなたの手元に「明月堂」の商品が届くまで(二)
お菓子づくりは、笑顔づくり。

包装を凝らし目でチェックする担当者。
商品を検査する寸前まで、気を抜くことはありません。



おいしさと安心安全を
包み込む「個包装」

さまざまな職人の手を経て、こん
がりと焼きあがった「博多通りも
ん」は、今度は一列に整列。「個包装」
の工程へと流れ、そのおいしさを逃が
さぬよう、焼きたてのまま、「ひとつ
丁寧に包装されます。機械はロール
状に巻かれたパッケージを送り出し
ながら、脱酸素剤を添付し、目にも

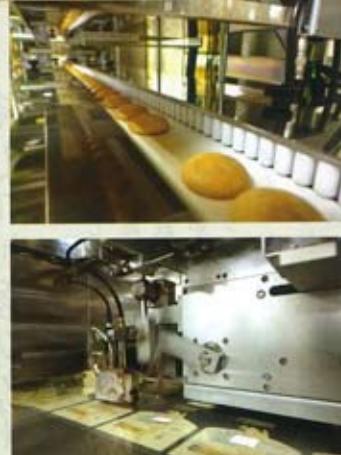


明月堂の代表作「博多通りもん」を製造する本社工場。包装紙と同じ外観が目をひきます。

博多ものがたり



「個包装」ではあつといら刷りを施すなど、おいしさと安心の秘密が詰まっています。



留まらぬ速さで「博多通りもん」を包んで個包装していきます。この「個包装」には、おいしさを封じ込めるという役割のほかに、もうひとつ大切な仕事があります。それが、お客様に安心を約束するということ。金属探知機で異物混入をチェックするのはもちろん、パッケージには、製造記号を印字。商品がお客様のお手

元に届いた後でも、安心安全をお約束できる体制を整えています。

速く、正確に、丁寧に。 箱詰めはデリケートな作業

「箱詰め」された「博多通りもん」は「箱詰め」されていくことになりますが、この工程を担当するのは、実は人。商品を触る、持つといった作業は想像以上にデリケートなため、機械に頼ることが難しいのです。商品がラインに乗って次から次へと流れるスピードはかなりのもの。「しかし、そこは人が経験を積んで慣れるしかありません」と担当者は言います。箱詰めする職人はさらに商品の完成度にも目を配り、焼き色や大きさ、形が不揃いなものは一瞬のうちに取り出していきます。もちろんそ

れだけに包装の良し悪しも大切な品質のひとつです。

いよいよ最終工程、箱を包装紙でラッピングする「箱詰め」です。「せつかくおいしくつくつても、包装がきれいでなければ、商品として送り出すことはできません」。担当者が語るように、包装もまた「博多通りもん」の品質のひとつ。最後は、糊づけがあまりないか、職人が細やかにチェックしていく



ます。最後まで、「博多通りもん」を手にとつてくださるお客様の笑顔を思い浮かべながらつくること。それが、明月堂のお菓子づくりです。



ラインごとに箱のサイズが異なる「箱詰め」の工程。商品を扱う際は繊細な注意が必要です。



贈答品として利用されることも多い「博多通りもん」。それだけに包装の良し悪しも大切な品質のひとつです。

年賀の松ばやしがどんたくに そして博多の祭りへ。

「ほんち かわいや

ねんねしな

品川女郎衆は十匁

十匁の鉄砲玉

玉屋がかわい

スツボンボン

「博多どんたく」の起こりは、
「博多松囃子」。約八三〇年前
の治承三年（一七九年）に始ま
ったと貝原益軒が筑前国統風
土記に記しています。その後、様々

な歴史の変遷を経て、シャレつ

味線うち鳴らし、みんなで町に

くりだして、面白楽しく、唄つ

たり、踊つたり。

「どんたく」は、古くからあ

る博多の大きなお祭りです。

どんたくは室町時代に京都

で行われていた領主への年賀行

事・松ばやし・がもとになつてい

るそうで、これは人々が得意の

芸能を演じながら街を練り歩

いたことから始まつたと言われ

ています。

昭和二十一
年（一九四六年）
五月二十四日、
焼け野原の博多を

「復興しようや！」の掛け声に、

厚紙や新聞紙に色を塗つた肩

衣や疎開先から借りて来た三

味線、太鼓を集め、約六キロの瓦

礫の道で「通りもん」を行いまし

た。この時の三味線や太鼓の響

きが、大きな復興への勇気を与

えました。平成十七年の福岡西

方沖地震の時もそうでしたが、

「通りもん」といえば復興の証。

毎年、初夏の博多を彩る祭りと

して、博多っ子に限らず日本中

の人々に愛されています。

にふ
印



博多えのがたり

饅頭と繋がりのある 博多山笠

博多祇園山笠は全国でも有名な夏を呼ぶ祭りです。この山笠をはじめたのが博多に饅頭を伝えた聖三国師。



山笠は昇き山の他、美しい人形を高く飾り付けた「飾り山」もある。

明月堂のお菓子は、こうした博多の歴史や伝統、博多子の心意気に彩られています。

西洋休日 博多もん 通 SEIYOKU KYUJITSU HAKATA TORIMON



五月三日・四日に行われる博多祇園山笠は、今でもどんたくをしていた姿、すなわちどんたく衣裳に身を包み、三味線を弾き、笛を吹き太鼓をたたいて練り歩く姿、形を「通りもん」と言つておりました。

ミルクの香りのするハイカラな衣裳で身を包み、餡がしっとり練りあげられた、明月堂の「もんじゅうは、まさに「博多通りもん」の名にふさわしいといえるでしょう。



博多にわかのお面

「通りもん」は、今でもどんたくの名物として、行列の先頭に立ち、祭りをおおいに盛り上げています。

夏の爽やか涼菓集

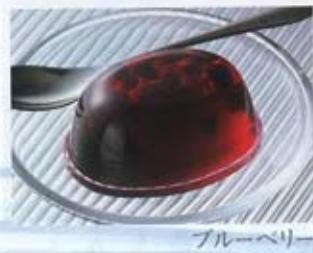
彩りも賑やかなゼリーの詰め合わせ

果熟寄

完熟したマンゴー、ラ・フランス、
ブルーベリーを収穫しフレッシュで
爽やかなゼリーに仕上げました。
夏ならではのおいしさをお楽しみください。



商品番号 22249
6個入 一、六八〇円(税込)
様果(マンゴー) 2個
藍莓(ブルーベリー) 2個
洋梨(ラ・フランス) 2個



ブルーベリー



ラ・フランス



マンゴー



柚子入りジユレ
商品番号 22228
1個 二六七円(税込)



商品番号 22227
1個 二六七円(税込)

梅入りジユレ

爽やかな素材の美味しさをそのままに。



商品番号 22241
1個 三六七円(税込)
商品番号 22243
3個入 一、二六〇円(税込)
商品番号 22244
6個入 一、四一五円(税込)

涼し川端ぜんざい

お口の中にほんのり甘い涼風が香る、
爽やかなご挨拶。夏の博多情緒を贈る、
明月堂の博多西洋和菓子が揃いました。



涼し川端ぜんざい
とて箱詰めもできます。
商品番号 22238
3個入 一、二六〇円(税込)
商品番号 22240
6個入 一、四一五円(税込)

*季節商品の為、数に限りがございます。8月上旬には品切れの可能性がありますので、ご了承くださいませ。※詰め合わせの内容が変わることがございます。

原料の小豆、抹茶は
選び抜かれたものだけを使用
まろやかな中にもすつきりとした
味に仕上げられています。

まろやかな甘さが懐かしい、趣き涼し、水ようかん

勢い水

◆ 小倉 ◆ 抹茶 ◆ こしあん



商品番号 22235

(税込)

商品番号 22236

(税込)

商品番号 22237

(税込)

6個入 一、二二六五円 (税込)
9個入 一、二一〇〇円 (税込)
12個入 一、二七二〇円 (税込)



勢い水

博多の夏を呼ぶ「博多紙園山笠」。巨大な飾り山をひく男達を冷やすのが、沿道からかけられる「勢い水」なのです。



涼菓詰め合わせ(サマーギフト)

詠笑恵

商品番号 22216
12個入 二、一五〇円 (税込)
6種詰め合わせ

商品番号 22217
18個入 五、一四五円 (税込)
9種詰め合わせ



涼菓詰め合わせ(サマーギフト)

【詠笑恵】

博多では山が飾られると

夏本番。山笠が駆けると博多の子の血が騒ぎます。ここでも、「祝い日出度」が唄われます。

暑い夏を彩る

博多西洋和菓子が、涼やかな刻を

届けます。



涼菓詰め合わせ(サマーギフト)

涼菓詰め合わせ(サマーギフト)

涼菓詰め合わせ(サマーギフト)

明月堂のお菓子には、博多の心がこもつとーね。

明月堂のお菓子には博多弁や博多の風物が

名前として使われていると聞いて、最初はびっくりしました。

そして、僕の中の博多っ子の血が嬉しく騒いだことを覚えています。

そんなわけで、明月堂のお菓子には愛着がありますね。

これからも、どしどし博多ならではの

文化を伝えるお菓子を作つてもらつて、

多くの人に博多のことを知つてもらえたうれ



Nagao Hasegawa
長谷川法世

漫画家 はせがわほうせい



博多町家ふるさと館 館長
1945年福岡市博多区生まれ。
代表作は76年から8年間連載した
「博多っ子純情」。
NHK朝の連続テレビ小説
「走らんか」では原案を担当した。

モンドセレクション 12年連続金賞受賞 '07~'12年最高位 特別金賞を受賞

第40回(2001年)ポルトガル、第41回(2002年)フランス、第42回(2003年)ベルギー・ブルッセル、
第43回(2004年)オランダ・アムステルダム、第44回(2005年)ベルギー・ブルッセル、
第45回(2006年)チェコ・布拉ハ、第46回(2007年)スペイン・バルセロナ、
第47回(2008年)オーストリア・ウィーン、第48回(2009年)イタリア・ベニス、
第49回(2010年)ドイツ・フランクフルト、
第50回(2011年)ベルギー・ブルッセルに続き、
第51回(2012年)ギリシャアテネでも連続受賞。



第23回全国菓子大博覧会お菓子の最高位賞
名誉総裁賞受賞

第24回全国菓子大博覧会お菓子の特別賞
茶道家元賞受賞(表千家)

第25回全国菓子大博覧会
名誉総裁賞(技術部門) 橘花栄光章受賞

傑作まんじゅう 博多通りもん

博多に伝わる和菓子の伝統に、
生クリームやバターを始めとする
西洋菓子の素材を取り入れた
博多通りもんは、
まさに博多っ子が愛する遊び心や
洒落っ気を、その製法にこめた
博多ならではのお菓子です。
博多を中心福岡近郊で
販売しております。

商品番号 1722

博多通りもん
10個入 一、五七五〇円（税込）



商品番号 1721

博多通りもん
6個入 六三〇円（税込）



商品番号 1722
博多通りもん
15個入 一、五七五〇円（税込）

商品番号 1723
博多通りもん
20個入 二、一〇〇円（税込）



商品番号 1724

博多通りもん
30個入 三、一五〇円（税込）



商品番号 1726

博多通りもん
40個入 四、二〇〇円（税込）



「博多通りもん」
5月3・4日に行われる博多どんたく。
市民の祭りに、盛んなく衣装を身にまと
い三味線笛太鼓でお囃子をする人達を「通
りもん」といいます。



世界が選んだ博多の名菓
博多通りもん
「mond's Selection」

12年連続金賞受賞

'07～'12年
最高位 特別金賞を受賞



お菓子の品質向上を目的に欧州共同体
とベルギー経済省が1961年から行
っている世界食品コンクールです。特
に味覚に優れたものに金賞が与えられ
ます。博多通りもんは、2001年のボ
ルトガルでの金賞受賞以来今回のギリ
シャ・アテネで12年連続受賞、さらに、最
高位となる「特別金賞」を6年連続受
賞いたしました。

※木箱入もございます。
商品番号 1725
博多通りもん
40個入／木箱 五、〇〇〇円（税込）

博 多らしさにこだわる明月堂の
お菓子は、その多くが博多に
なじみのある地名や方言、
遊び、祭りなどをもとに名づけられて、
ます。そのひとつのお菓子から、ほ
んのり博多の下町情緒が香ります。



写真は詠笑恵3,150円(税込)です。

※季節により詰合わせの内容が変わることがございます。

※包装形態が変わることがございます。

箱を開けると、

博多の歴史、文化、情緒が広がります。

博多西洋和菓子ぞうえ

えい しょう

え

詠笑恵

箱を開けるとそこから、

昔懐かしい博多の方言や

人情味あふれる伝統、文化の

物語があふれ出してきます。

明月堂より十ぐりの

人気の博多西洋和菓子が、

四季折々の表情を見せ、

皆様を愉しませることでしょう。



詠笑恵

商品番号 1414
博多西洋和菓子詰合せ

三、一五〇円(税込)



商品番号 1415
博多西洋和菓子詰合せ

五、二五〇円(税込)

詠笑恵



商品番号 1413
博多西洋和菓子詰合せ

一、一〇〇円(税込)

詠笑恵



【詠笑恵】

博多では、祝宴や酒宴で指名された方の合団で、祝い目出度を唄いはじめます。その歌の中で、博多んもんの心意気を伝え明るく力強い節回しや唄子が「エーイシヨーエー」です。

めんたいを入れて焼き上げた博多のパイ

博多つ子

博多の名物辛子めんたいを

パイに入れてパリッと焼き上げました。

秘伝のタレと味を加えたパリッとする辛子こどめんたいの豊かな風味をお楽しみください。



商品番号 12232
博多つ子
15個入 一、五七五円（税込）



商品番号 12231
博多つ子
10個入 一、〇五〇円（税込）



商品番号 12212
博多つ子
6個入 六二〇円（税込）



商品番号 12233
博多つ子
20個入 一、一〇〇円（税込）

【博多つ子】
ピリッと辛く、遊び心と洒落つけたつぶりの博多つ子。その博多つ子の気質がそのままお菓子になりました。



博多の歴史を
お菓子に託した新しいおまんじゅう

博多じまん

良質の小豆だけを使って
てぼう豆を加えてねりあげた餡は、
自然な甘さとやさしい風味を、
醸し出します。

博多の町に引き継がれる粹な心を、
ぜひご賞味ください。



商品番号 1916
博多じまん

6個入 六三〇円(税込)



商品番号 1917
博多じまん

15個入 一、五七五円(税込)



商品番号 1921
博多じまん

10個入 一、〇五〇円(税込)



商品番号 1922
博多じまん

20個入 一、一〇〇円(税込)



【博多じまん】

伝統の「博多じまん」といえば
多人形・博多織。七百年の伝統
の歴史を織りこんだ博多織は、
今もその美しさは変わらず、白
い生糸からつくり出される「博
多帯」は、さまざまな人から愛さ
れた逸品です。



第24回全国菓子大博覧会お菓子の最高位賞
名誉総裁賞受賞

博多西洋まんじゅう集め

にぎやつ菓



三、一五〇円（税込）

商品番号 1514
博多西洋まんじゅう集め
にぎやつ菓
博多通りもん 18個
博多じまん 6個
さび溝作 6個



二、一〇〇円（税込）

博多通りもん 10個
博多じまん 5個
さび溝作 5個

商品番号 1513
博多西洋まんじゅう集め
にぎやつ菓

さとうきびから採れる黒糖を
皮と小豆餡に練り込んだ蒸し饅頭

きび満作

「弓なりや 子の手にもたす さとうきび」
百合山羽公の俳句に詠まれるように

さとうきびは子どもが喜ぶ甘い食べものでした。
幼き日のやさしい想いを
ほっこり、ふくら、蒸し饅頭に仕上げました。
むかし懐かしい深い味わいを
ぜひご賞味ください。

商品番号2106

きび満作

六三〇円(税込)



6個入

商品番号2121

きび満作

一、〇五〇円(税込)



10個入

商品番号2122

きび満作

一、五七五円(税込)

15個入



商品番号2123

きび満作

20個入 一、一〇〇円(税込)



【きび満作】
南国特産「さとうきび」は陸
月（1月）～弥生（3月）頃に
かけて収穫されます。
まず「茎」に含まれる甘い「き
び汁」を絞り出し、直火釜に
て長時間かけて煮詰め、黒砂
糖が出来上がります。
この黒砂糖独特の風味を織
り込んでお作りしたのが「き
び満作・黒糖まんじゅう」でこ
ざいます。
思い出の中にある昔懐かしい
このひとしな、ご賞味いただけ
ましたら幸いでございます。



よもぎの香りと粒あんの甘さが

博多の野辺の思い出を伝えます

畔摘みもち

国産のよもぎを
たっぷりと使った餅の中に
こだわりのあずき餡を入れて
作ったのが「畔摘みもち」です。
よもぎ餅の香りと味を
お楽しみください。



商品番号 11122
15個入 一、五七五円（税込）
畔摘みもち



商品番号 11121
10個入 一、〇五〇円（税込）
畔摘みもち



商品番号 11123
20個入 一、一〇〇円（税込）
畔摘みもち



【畔摘みもち】
春の博多、那珂川の川辺や田圃の畔道には、
若草色に芽吹いたよもぎが至る所に芽
を出していました。昔は畔で摘んだよも
ぎで作った「草餅」を楽しみにしていま
した。

素焼つばから

取り出した頃の昔懐かしい味

博多つば焼風

芋つば

芋本来の美味しさ、香ばしさ、
ほくほく感を大切に、素材も契約栽培されている
さつまいもに、だわりました。
芋の皮まで使い、

その美味しさを「芋つば」に凝縮しました。

博多の冬の風物詩を
いつでも味わうていただけます。



商品番号 1606

10個入 1,050円(税込)



商品番号 1621

20個入 1,100円(税込)



商品番号 1622

15個入 1,575円(税込)



【芋つば】

博多の駄菓子屋さんではその昔、素焼の壺の中に針金で吊した芋を入れて焼いた、ほつくりとおいしい焼芋(芋つば)を先づていました。

どら焼の皮で包んだカステラけーき

西中洲

貴賓館ろまんす

かすていらをひとつひとつ

「文字焼」でくるみました。

手間をかけた上品な
カステラけーきです。



商品番号 0211

10個入 一、一五五円(税込)



商品番号 0212

15個入 一、七三二円(税込)



商品番号 0213

20個入 一、一三一〇円(税込)



※箱詰めの個数、金額が変更になる場合があります。

【西中洲貴賓館ろまんす】

博多の中洲から出逢い橋で那珂川を渡ると見える建物です。昔の教育厅の跡で、明治・大正ロマンを偲ばせます。



この「明月堂かすていら」は素材のふくよかな風味を活かして焼き上げております。

「懐かしき旨み」をご堪能下さいませ。

それは遠い昔、憧れの味。
ひと切れの母の優しさ。

明月堂かすていら



(1本を10切れにスライス済)

商品番号 0106
1本詰 一二六〇円(税込)

商品番号 0111
2本詰 二五二〇円(税込)

商品番号 0115
3本詰 三七八〇円(税込)

商品番号 0121
5本詰 六三〇〇円(税込)



明月堂かすていら
卵たっぷりのかすていらは、
ほのぼのとした懐かしい
味わい。独特の製法によ
るしつとりとまろやかな
風味が、お口の中に広が
ります。

うぐいす餡たっぷりの純和風饅頭 博多藪あん

「やぶれ饅頭」は、昔より
博多の庶民の味として
よく愛されてきました。

その製法に習い、

たっぷりの「うぐいす餡」を、

山芋をふんだんに使った
「芋餡」生地で包んだ

博多流のお饅頭です。

商品番号 0421
6個入 六三〇円(税込)

商品番号 0431
10個入 一〇五〇円(税込)

商品番号 0432
15個入 一五七五円(税込)

商品番号 0433
20個入 一〇〇円(税込)

【博多藪あん】



野山に住む鶯のことを「藪鶯
やぶうぐいす」といいます。
鶯豆を使った餡なので「藪
あん」となりました。
また、昔は奉公人のお休みを
「藪」といって楽しみにしてい
たことから、庶民の楽しみ
を、その味にこめたという
ことにも由来しています。



卵白(メレンゲ)と
アーモンドブーラーで作った口溶けの良い生地に、
珈琲(コーヒークリーム)をサンドした、
ちよつと大人の香りのするお菓子です。

ひと昔前の博多を偲ばせる
懐かしくてモダンな味わい

博多モダンカフエ

商品番号05521

7個入 一、二六〇円(税込)

商品番号05522

14個入 一、五一〇円(税込)



商品番号05524
22個木箱入 三、八八五円(税込)

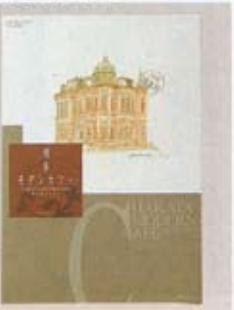


※気候により販売を控えることがあります。

※箱詰めの個数、金額が変更になる場合があります。

【博多モダンカフエ】

ひと昔前の博多。街には赤レンガ作りの洋館やハイカラな喫茶店が立ち並び、人は洋風なスタイルに身を包んで歩いていた時代。そんなレトロでモダンな当時の面影を残す博多の街の風情を、お菓子に仕立てました。



発酵バターを使い、
より芳醇な香りと味に焼き上げました。
懐かしい風味の中に、新しいセンスを含んだ
きめ細やかな味わいを存分にご堪能ください。

伝統の技に現代の感性を折り込んだ

南蛮バターカステラ

商品番号1011

9個入 一、二六〇円(税込)

商品番号1012

12個入 一、六八〇円(税込)

商品番号1013

18個入 二、五一〇円(税込)



※箱詰めの個数、金額が変更になる場合があります。



【南蛮バターカステラ】
「南蛮」というのは「阿蘭陀(オランダ)」の略語です。(博多どんたく)がオランダ語の「オランダ(休日)」に由来する
ように博多とオランダにある
縁のようなものを銘にしました。

こだわり素材の高級どら焼

上川端通り5-104

商品番号 0611
8個入 一、三六五円(税込)

商品番号 0612
12個入 一、一〇〇円(税込)

商品番号 0613
16個入 一、七三〇円(税込)



蜂蜜と鶏卵をたっぷり使った高級生地と
小豆餡で美味しいにこだわりました。



チーズとマドレーヌのハーモニー

赤てのこい

商品番号 0711
5個入 八四〇円(税込)

商品番号 0712
10個入 一、六八〇円(税込)

商品番号 0713
15個入 一、五二〇円(税込)



※箱詰めの個数、金額が変更になる場合があります。



フレッシュバターと鶏卵を使い、チーズを入れて
香ばしく焼き上げました。

【赤てのこい】
博多の祭、山笠。その7つの組織
は手のこいの色で分けられています。
山笠に最も貢献した若者
のみに与えられる手ぬぐいを
「赤てのこい」と呼びます。

※箱詰めの個数、金額が変更になる場合があります。

【上川端通り5-104】

明月堂の創業の地「川端本店」の
住所が「上川端通り5-104」。
そこで当店自慢のどら焼に、看
板商品として、この名前を付け
ました。



日本一、甘いぜんざいと謳われる

川端ぜんざい

「せんざい」は川端の心。小餅の入った
甘い甘いぜんざいは、昔ながらの博多の街の
よき時代を思い出させてくれます。



商品番号 2801
1袋 四八〇円(税込)
商品番号 2811
3袋入 一、五七五〇円(税込)

商品番号 2812
5袋入 二、五二二〇円(税込)
商品番号 2813

商品番号 2813
8袋入 三、九九〇円(税込)



※レトルトパック入り。
※餅は真空パック入り。

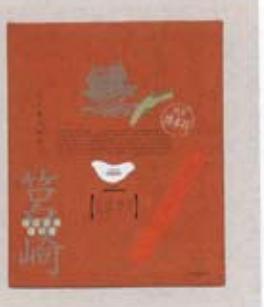
石臼で挽いた小麦粉、砂糖、蜂蜜などを使い、
独自のカステラの技術で焼き上げました。

石臼挽き丸ぼうろ
管崎ばつぼ

商品番号 0321
18個入 一、四一七円(税込)

商品番号 0322
27個入 一、一〇〇円(税込)

商品番号 0323
36個入 一、八三五円(税込)



【管崎ばつぼ】

博多の伝統土産品「博多曲物」
は、管崎宮の調達品としても
用いられ、松竹梅と鶴亀を描
いた脚つきの四角い祝い膳は
「ばつぼ膳」といわれています。
さらに、そこに管崎宮の鳩を
イメージして「管崎ばつぼ」と
名づけました。



※箱詰めの個数、金額が変更になる場合があります。



博多にわかの
お面



太宰府天満宮のうそ



宮崎八幡宮の鳴笛



馬出の曲物

明月堂 Web 博多ものがたり

明月堂のホームページにどうぞ。

※インターネットでのご注文はクレジット決済ができます。

<http://www.meigetsudo.co.jp>

E-mail info@meigetsudo.co.jp

携帯サイト <http://www.meigetsudo.net/m/>



○お申込み方法

●ご注文専用

フリーコール

■電話による受付
(受付時間9:00～17:00)

TEL 0120-158-127
または **TEL 092-411-7777**

■フリーファクシミリによる
受付(24時間)

FAX 0120-1058-67

お客様の郵便番号、住所、氏名、
電話及びFAX番号を記入の上、
当社にFAXしてください。

●お支払いは入金後発送又は代金引換

【入金後発送】

■銀行振込

西日本シティ銀行 福岡支店(当座)8843

(株)明月堂 宛

※振込手数料は、お客様のご負担となります。

■郵便振替

01780-0-79770(株)明月堂 宛

※振替手数料は、お客様のご負担となります。

■コンビニ決済

※指定振替用紙からのみお支払いいただけます。

■コレクト便(代金引換)

配達時に商品とお引き換えに、代金を
お支払い頂く早く便利なシステムです。

○宅急便のご案内 (税込)

九州	420円	中部・北陸	735円	北海道	945円
中 国	525円	関東・信越	840円	沖 縄	945円
四国・関西	630円	東 北	945円		

デパート

- 天神岩田屋店 (092)721-1111(代)
- 博多大丸店 (092)712-8181(代)
- 福岡三越店 (092)724-3111(代)
- 博多阪急店 (092)461-1381(代)

直営店

- 本社売店 (092)411-7777
- 川端店 (092)281-1058
- 博多駅名店街マイング店 (092)441-6445
- 博多ディスク1号店 (092)441-0386
- 博多ディスク2号店 (092)474-2559
- ダイエー笹丘店 (092)761-2152
- イオン原店 (092)833-4414
- ダイエー福重店 (092)884-0868
- サンリブ木の葉モール橋本店 (092)811-5778
- 姪浜ディスク店 (092)881-3661

直営店

- ショッパーズモールマリナタウン店 (092)885-8103
- イオンモール福岡伊都店 (092)805-8877
- ゆめタウン博多店 (092)632-3121
- イオンモール香椎浜店 (092)674-2522
- ハローデイ新宮店 (092)963-5151
- イオン福津店 (0940)38-5118
- ゆめタウン宗像店 (0940)33-0010
- サンリブくりえいと宗像店 (0940)33-7000
- イオン福岡東店 (092)612-3088
- イオン福岡店 (092)939-7277
- イオン大野城店 (092)589-4711
- ザ・モール春日店(西友春日店内) (092)595-0020
- ゆめタウン筑紫野店 (092)928-5556
- イオン筑紫野店 (092)918-3015

博多通りもんは下記売店でも販売しております。

空港(国内・国際)売店

- 岩田屋エアポートショップ店
- 博多大丸エアポートショップ店
- 福岡玉屋エアポートショップ店
- 全日空商事福岡空港売店
- JALUX福岡空港売店
- 福岡空港商事売店免税ショップ
- ベイシス福岡 菊ひら売店
- 福岡空港国際線売店

その他の売店

- キヨスク(博多駅構内売店)
- 博多バスター・ミナル売店
- 高速道路売店(基山・広川・全立・古賀・山田SA)
- 天神バスセンター売店
- ふくや売店(一部)
- キャナルシティ売店
- 福岡パルコ売店

※店舗により、取扱い商品が異なります。

商品のご発送

博多情緒たっぷりの
博多西洋和菓子をどうぞ。

HAKATA SEIYOKU GASHI

◆ 博多西洋和菓子 ◆

MEIGETSUDO

株式会社 明月堂

〒812-0892 福岡市博多区東那珂2丁目11番23号

TEL092-411-7777 FAX092-411-7878

明月堂ホームページ <http://www.meigetsudo.co.jp>

E-mail: info@meigetsudo.co.jp

2012.6-2012.8<第42号>
夏の博多ものがたりです